

ポリオ

1 接種の対象者、接種回数及び接種方法

区 分		対 象 年 齢	接種間隔	接種回数
（単独の不活化ポリオワクチン） 急性灰白髄炎	初回	福山市に住民票がある生後2か月から90か月（7歳6か月）に至るまでの間にある者 （標準的な接種時期は生後2か月～12か月に至るまで）	20日以上 （標準的には56日までの間隔をおく）	3回
	追加	（同上） （標準的な接種時期は初回接種（3回）終了後、12か月～18か月に至るまで）	初回接種（3回）終了後、6か月以上	1回

※ ポリオ予防接種は、【単独の不活化ポリオワクチンの接種が必要になる場合】を除き、4種混合ワクチンまたは5種混合ワクチンを使用して行います。

※ 「長期療養が必要な疾病などで定期の予防接種の機会を逸した者に対する特例」については、『定期接種実施マニュアル』を参照してください。

※ 生ポリオワクチンを1回接種した者については、単独の不活化ポリオワクチンの初回接種を1回受けたものとみなします。

※ 生ポリオワクチンを2回接種した者については、単独の不活化ポリオワクチンを定期の予防接種として受けることはできません。（ポリオ予防接種は完了しています。）

※ 海外等で不活化ポリオワクチンの接種を受けた者は、医師の判断と保護者の同意に基づき、既に接種した回数分の不活化ポリオワクチンの初回接種を受けたものとしてみなすことができます。

【単独の不活化ポリオワクチンの接種が必要になる場合】

3種混合ワクチンが不活化ポリオワクチンの接種回数を上回っている場合、4種混合ワクチンまたは5種混合ワクチンに切替えても、単独の不活化ポリオワクチンの接種が必要です。（具体例は次のとおり）

① 生ポリオワクチンを1回接種している場合

ワクチンの接種状況(例)			接種方法
生ポリオ	3種混合	不活化ポリオ	単独の不活化ポリオワクチンを2回、4種混合を1回接種することで、ポリオの予防接種は終了です。 （ポリオは生ポリオを含めて4回となる。）
1回	3回	0回	

② 生ポリオワクチンを接種していない場合

ワクチンの接種状況(例)			接種方法
生ポリオ	3種混合	不活化ポリオ	単独の不活化ポリオワクチンを1回、4種混合を3回接種することで、ポリオの予防接種は終了です。
0回	1回	0回	

注）4種混合ワクチンと5種混合ワクチンどちらに切替えるかは、ヒブワクチンの接種状況により異なります。

2 接種方法

接種 1 回につき、0. 5mlを皮下接種

【接種の基本的なパターン】

生後2か月から90か月に至るまでの間に不活化ポリオワクチンを4回接種

